

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳スケートセンター	所管課	スポーツ健康課
所在地	北杜市小淵沢町上の原3989-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年12月
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳スケートセンター設置及び管理条例		
設置目的	スケートの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため、八ヶ岳スケートセンターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	屋外スケートリンク(リンク幅13m 1週400m) 管理事務所(528.83㎡)、倉庫兼休憩所(270㎡)		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)小瀬スポーツ公園アイスアリーナ:屋内型(スピードスケート競技場ではない。)利用者数:82,512人(営業期間:約8ヵ月間) (2)富士急ハイランドアイススケートリンク:民間レジャー施設の一部として冬季に営業している。 ※八ヶ岳スケートセンターの営業期間(11月～翌2月まで)
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数	14,643	14,477	14,142	
	利用者数合計	14,643	14,477	14,142	
	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
	目標値設定の考え方	隣接する観光施設との連携を深めることにより、利用者の増加が可能であるため、H18年度実績を上回る数値を設定した	隣接する観光施設との連携を深めることにより、利用者の増加が可能であるため、H19年度実績を上回る数値を設定した	隣接する観光施設との連携を深めることにより、利用者の増加が可能であるため、H20年度実績を上回る数値を設定した	隣接する観光施設等との連携を深めることにより、利用者の増加が可能であるため、H21年度実績を上回る数値を設定した
	対19年度比	100.0%	98.9%	96.6%	102.4%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	5,539,810	5,248,000	5,506,640	5,248,000
	指定管理者委託料	49,068,000	51,207,000	51,207,000	50,877,000
	その他				
	収入合計(A)	54,607,810	56,455,000	56,713,640	56,125,000
支出	人件費	8,099,132	10,266,000	6,843,989	10,100,000
	県への納付金				
	管理運営費	45,282,628	46,189,000	47,141,508	46,025,000
	(うち外部委託費)(B)	26,059,610	26,725,000	26,128,200	26,679,000
	支出合計(C)	53,381,760	56,455,000	53,985,497	56,125,000
収支差額(A-C)		1,226,050	0	2,728,143	0
外部委託比率(B÷C)		48.8%	47.3%	48.4%	47.5%
利用者一人当りの経費		3,389	3,414	3,621	3,392

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年12月~22年1月、実施方法:一般利用者、競技利用者へのアンケート、回答数:635人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①設備・設備管理	63.1%	0.0%	17.6%	19.3%
②利用規程	51.1%	31.5%	10.1%	7.4%
③運営事業(催し等)	78.0%	20.2%	1.8%	0.0%
④受付・接客	86.1%	0.0%	1.5%	12.4%
⑤サービス	84.0%	10.5%	5.5%	0.0%
各項目の平均	72.5%	12.4%	7.3%	7.8%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者も楽しく安全に滑れるように、リンク周りに手すりを設置してほしい。 ・無料ショートレッスンの実施回数を多くしてほしい。 ・軽食の設備をさらに充実してほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・経費が掛かる施設の整備・改修については、県との協議を十分に行った上で対応を検討していきたい。 ・指導内容を充実させるとともに、実施回数を増やす方向で検討していく。 ・軽食の内容を見直す方向で検討していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	施設の運営業務については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	計画どおり各事業を実施することができた。今後も継続したい。	自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画し、利用者へのサービス向上に努めること。
利用状況	利用者数の大幅な増加は困難だが、地元地域以外の学校などへのPR活動に努め、事業計画の目標は概ね達成できた。	利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。
収支状況	修繕費が計画より大幅に増えたが、節電の徹底などにより経費の節減に努めた。	利用者の安全性の確保や利便性の向上に必要な修繕や備品の購入を行うなかで、計画以上に支出を抑えていることは評価できる。
利用者満足度	早急に対応できる利用者の声については、対応を行った。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は行き、より一層のサービス向上に努めていく。	総合評価値は、概ね高い評価を得ている。施設改善の要望については、県側で対応すべきものであり、指定管理者の責に起因するものではない。こうした中、利用者の意見については可能な限り迅速な対応がされている。今後とも利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めること。
運営目標の達成状況	運営目標については、2項目が目標を僅かに下回っているものの、全体的には概ね達成している。 ①利用者数: 目標 15,000人 実績 14,142人 ②大会開催数: 目標 5回 実績 5回 ③練習利用回数: 目標 217回 実績 207回	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については概ね適正に実施されている。また、利用者の意見については可能な限り迅速な対応がされている。 H22年度は、一層の経費削減、集客及び増収に努めること。また、利用者ニーズを把握するとともに、利用者の意見には条例、協定等に基づき可能な限り対応すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設の老朽化により、計画よりも修繕等に経費が必要となる場合は県と十分に検討を行い、運営業務に支障を来さないよう迅速に対応したい。また、利用者に対しては、満足度調査等を行いニーズに出来る限り答えていくよう努力したい。	

7. 管理体制(組織図)



